

## JICA & APARI フィリピンプロジェクト 活動報告 第3回派遣(2010/7/11~17)

アパリは、平成21年度よりJICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業として、マニラ市の貧困層における薬物依存症者に対する回復支援推進事業を展開しています。本事業により7月11日から7日間、日本のメンバー3名がフィリピンに行ってきました。派遣メンバーは、前回と同じく三浦、山本、古藤でした。

前回の今年1月の派遣では、マニラの貧困地域のマリキナとタタロンの2箇所で開始するミーティングをARM(アディクション・リカバリー・ミーティング)と名づけました。今回の派遣は、いよいよ開始となったARMの進展状況の確認、関わっている現地メンバーへのフォローアップが主な目的です。

まずは、昨年本邦研修で来日したコアメンバーのガブリエルさん、ジュンさん、デビッドさん、そしてフィリピン側のプロジェクト・マネージャーのリッチーさんと再会し、現地での活動について話す機会がありました。さらに、8月17日から本邦研修に参加する予定の新しい2名のコアメンバー(キンバートさん、キャロラインさん)とも会うことができました。

### <派遣中の主な訪問先>

ファミリー・ウエルネス・センター  
危険薬物委員会(Dangerous Drug Board)  
JICAフィリピン事務所  
タタロン・ラーニング・センターにおいてARM実施

### フィリピン訪問を終えて・・・ヨウジ(三浦)

弱者の立場に立たないと見えないものがある。

私も薬物依存症で弱者の立場にあるが...今回のフィリピン貧困層への支援は私達より、より弱者な方々への支援なわけで、私にも見えない視点が沢山存在することがフィリピンに行く度に思い知らされる。

富裕層にはタガログ語だけではなく英語を使う国である有利な点も手伝って、日本よりも手厚いプログラムがある。しかし貧困層には無料ではあるが刑務所のような(軍隊のような?)施設ぐらいしか行く所がないのである。

私達が期待をもって始めたマリキナ市のプログラムがストップした。理由はマリキナ市営施設では「バイブルリーディング(聖書の読み合わせ)」を行っているのでプログラムが合わないとの事であったが、実際は選挙があり、トップが変わった為に次の指示があるまでは動けないというのが実情のようである。

私達、日本人がハワイのメンバーにご尽力頂き、今の形があるように、未だ困っている薬物依存症(今回は特に貧困層の)の手助けを自分の為に(人や組織の為にであると怒りに変わりやすい)これからも続けていきたいと強く思う。



JICAフィリピン事務所での  
打合せの様子



危険薬物委員会(Dangerous Drug Board)を表敬訪問し、次官のガラバンテ氏と会いました。フィリピンでは、法務省や警察庁ではなく、大統領直轄の危険薬物委員会が違法薬物に関わる取り締まり、回復支援等を統括しています。

滞在中は、リッチーさん、現地コアメンバーと日本からの3名で、リッチーさんが代表を務めるファミリー・ウェルネス・センターで打合せを重ねました。4日目には実際にタタロンで行われているARMミーティングに足を運びました。

ARM開始の準備段階より、マリキナは市行政との連携で、一方のタタロンは現地NGOとの連携で進めてきました。そのため、ARMの開催場所も、マリキナは公立のリハビリ施設内で、タタロンはNGOの施設内で実施することとなりました。ふたをあけてみると、行政連動のマリキナは、実施を望む市の保健担当行政と、開催場所となっているリハビリ施設の考え方の相違ということで、ミーティングは5月7日をもって一旦中止になりました。ただし、5月の国政選挙により市の体制が変わるため、別の場所で開催する方向で今後マリキナ市と調整していく予定です。

タタロンでは、現地NGOが本活動への理解が深く積極的な協力を受けられたこと、NGOがコミュニティからの信頼が厚いこと、柔軟な対応が可能なのもあり今のところ順調に展開しています。

ARMの参加者及び協力団体スタッフからARM開催頻度を増やして欲しいという強い要望があり、今後は月に2回実施することを検討しています。この要望は、参加者からの声だけではなく、ファシリテートしているコアメンバーからの声でもあります。

コアメンバーからは、より多くの参加者が継続してARMに参加することが、本人たちの回復にとっても望ましいことであるという意見もあり、コアメンバーとしてどのようにこのプロジェクトを発展させていけるか、一緒に考えていくことができました。

7/15午前、タタロン・ラーニング・センターで行われたARMに日本メンバーも参加しました。下がその時の写真です。現地の参加者の話に加えて、日本メンバーのヨウジとマサルも自らの体験談を語りました。



リッチー氏、コアメンバー5名と日本のメンバーとの打ち合わせ(ファミリー・ウェルネス・センターにて)



リッチー氏、コアメンバー3名と日本のメンバーとの打ち合わせ



タタロンでのARMミーティングの様子